

自己紹介



1988年生まれ。埼玉県日高市出身

慶應義塾大学文学部卒業

大学時代はアフリカや中東、アジアなどを旅するバックパッカー。卒業後広告制作会社で編集・ライター業を経験。

2014年2月よりETICの「右腕」で宮城県南三陸町に移住。

現在は一般社団法人南三陸研修センターで研修コーディネーターや町の情報発信事業を担当しながら、フリーランスでライターや撮影、映像制作の仕事を行っている。

埼玉県出身

浅野拓也

移住までの流れと移住してからのこと



2011 大学時代は海外放浪
卒業直前に3.11発生
社会人をやりながら
休みの日にボランティア



2011 編集・ライターとして
～ 食品広告を担当。
2014 日本中に取材に行って
一次産業従事者に出会
う日々



2014 将来の独立も視野に入
れ移住先を検討
ETIC. の右腕プログラ
ムに出会い2014年2月に
南三陸へ移住



2014 1年間のボランティ
アコーディネーター、
～ 2年間の農家経験を経
て現在に至る

ソトコト掲載

2015年4月号

東日本大震災の被災地の活動などを取り上げる「ソトボラ新聞」のコーナーで紹介



2015年8月号

前述した「右腕プロジェクト」に参加しているメンバーの働き方を特集するコーナーで登場



2019年9月号「災害と生きる」

「災害と生きる」というテーマ時に私と巡る宮城福島ということで6ページにもわたる掲載をいただきました

災害と生きる Life with a natural disaster



ベクトルは「未来」へ。 宮城県南三陸町在住の編集者・浅野拓也さんと巡る、宮城と福島。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地では今、どんな暮らしづくりが行われているのか宮城県・南三陸町でまちづくりに取り組む編集者の浅野拓也さんが、『未来』に向けて歩める地域の人々のプレイサーを紹介しました。

photographs by Kai Palmeny and by Riccardo Misasi



いま、なにしている？



研修コーディネート

Learning Cordinate



映像制作

Videographer



ライブ配信

Live Streaming



取材・記事執筆

Writing



写真撮影

Photographer



デザイン

Designer



地域からさまざまな形でお声がけをいただきながら自分のできることをやっている「何でも屋」です。
自らの少しのスキルを様々な場で、貢献することができるのが「地域のよさ」だと思っています。

研修コーディネート



年間3000名以上

大学や企業を中心に年間3000名以上の研修コーディネートを実施。森里海のフィールドに出て、さまざまな人と出会い、対話して、復興過程の町のプレイヤーから未来に生きる「ヒント」を得流ことのできるプログラム作りをおこなっていました。

オンラインツアー

1年間で1500名以上

コロナ以降、すべての団体研修がキャンセルとなってしまったためオンライン研修へと移行。オンラインでありながら座学ではなく、リアルタイム・インタラクティブ・五感を刺激することを大切にして多くのお客様に利用いただく人気研修となっています



最近やったこと



南三陸VRツアー

オンラインとはいえ、その場にいるような臨場感をもって体験できるツールとして【VR（ヴァーチャルリアリティ）】を使った体験プログラムを開発。語り部のほか、森案内、収穫体験、ヨガなどのさまざまなプログラムを実施。



地域の情報発信

8

Youtube動画の制作

南三陸って楽しいんだ！という
「南三陸＝震災」からの脱却を
狙って日々更新中。ぜひチャンネル登録お願いします。



南三陸の記事執筆

南三陸の復興への歩みのストーリーを紡ぐWEBメディアの編集・記事執筆。



個人でのお仕事

生き残った酵母で酒造りの再開を決意



記事執筆

宮城県の取材をメインにときには東北各地に出向いてここにいるからこそできる取材活動を行っています

なんにもなくなった」。酒造りを楽しみながら、仲間とともに盛り上がる。社長であり村長の鈴木大介さんに声をかけられ、共に「なんとかまた酒造りの場を造ってくれ」と。何度も声をかけられ、いざ実行したところには一本の電話が鈴木さんのもとに届きました。

そのためにもまたとつけていた酒造りの経験に勇気付けられて、いざ実行したところには一本の電話が鈴木さんのもとに届きました。自然の力で酒造りを行う鈴木酒造店にとって、代々続く酒造りの歴史を再び紡ぐことができることを意味してい

子どもたちの作品作り

妻のやっているダンススクールの映像作品作りを行なっています。子どもたちの思い出作りと地域のPRを兼ねられたらと。



南三陸での暮らし

読書・映画

読書や映画などが趣味なので家でプロジェクターで映画を見たり、読書したりしています。



畑で自給自足

自分が食べるものは少しでも自分で作る。耕作放棄地だった畑を借りて、野菜を育てています



イベント開催

娯楽が少ない地域だからこそ、自分たちが楽しみたいものは自分たちで作るということで、音楽フェスやマルシェ、野外映画祭など様々なイベントづくりをしてきました



登山とか

友人といっしょに町内の山にでかけたり、キャンプをしたり、SUPをしたり。アウトドアで自然を満喫しています

私の想い



未曾有の大震災でゼロどころかマイナスに陥った人々

それでも前を向いてポジティブに一步ずつ歩みを進める姿に

私は心を打たれて、移住を決断しました。

そんな人々の思いを伝えていくことが私の役割だと思っています。

記事、写真、映像、研修

手段は変われど、この地域に生きる人々の

「しなやかであり、たくましい、力強さ」

を伝えていくことに変わりはありません。

世界が再び混沌とした状態の今だからこそ

震災から10年の歩みを伝えていくことに意味を感じています